

富の使い方

2020年5月10日

序：新型コロナウイルスショック

世界のほかの大切な出来事、動きへの関心、注意

今まで判らなかったことが、表出

点でばらばらだったことが結び合わされ、繋がりが見えてくる

お金の流れを追っていけば、腑に落ちるこの世の歴史、生活

聖書では富、財産、金銭についてどう言っているか

I. 富、金銭自体は悪ではない（それを扱う人間の思いや態度が問題）

(1) テモテ I 6・9～10、17

金持ちになりたがる人たち

金銭を愛する人たち

誘惑、わな、破滅に至る欲に陥る

⇒ 信仰から迷い出る

高ぶり、富に望みを置く

(2) 伝道者の書 5・8、10～14

富や権力を持つ者たちは、下の者たちを虐げ、略奪する

金銭を愛する者、富を愛する者は、満足がない（物欲は果てしない）

寄食者が増える

安眠できない

富によって害を受ける（罪、快樂）

それらを失う悲劇に見舞われる

この世の富のむなしさ 15節

母の胎から裸で出て来たように、裸で戻っていく

自分の労苦の実、自分の自由にできる富を何ひとつ持って行けない

cf. テモテ I 6・7

何もこの世に持って来なかったし、何かを持って出ることもない

II. 富、金銭の本来の目的と使い方

(1) テモテ I 6・17～19

来るべき世（永遠の御国）における土台を蓄え、まことのいのちを得ること

富に望みを置くのではなく、神に望みを置く

∴ 神が私たちにすべての物を与え、楽しませてくださる

善を行う 立派な行いに富む 惜しみなく施す 喜んで分け与える

(2) 伝道者の書 5・18～20

神が人間に喜び、楽しむようにと与えてくださった賜物

神が与えてくださった人生の労苦にあつて良き物を受け、喜び、飲食する

神の賜物を喜んで受け、人生をくよくよ思い煩わないで楽しむ

(3) ルカ 16・1～13 抜け目のない管理人のたとえ

15・11～32 遺産の浪費によって行き詰った放蕩息子

16・19～31 永遠のことに無頓着に、富を享受した金持ち

ある金持ち＝不在地主

管理人＝主人の代理人として、財産を管理
権限あり

無駄遣い＝湯水のように使う 横領

不正、悪事が発覚、解雇することを決めた上で、会計報告を求める主人

管理人のプライド＝物乞いをするくらいなら死んだほうがまし

もくろみ＝債務者たちに恩を売る、個別に、内密に

彼らが見返りに、家に迎え、援助してくれる

とった方法＝本来の借りは油50バテ、小麦80コル（→主人）

差し引いたのは利子と手数料（→管理人）

債務者との取り決め

主人の財産は減らしていない

主人＝管理人の乱費に対して、解雇という相応の対応をした（取消しは無し）
自分の終わりに対する深刻な受け止め、滅びを回避する必死の対策
それを速やかに実行をした管理人の賢さ（抜け目のなさ）をほめた

このたとえ話：この世の子らを引き合いに出して、光の子らを奮起させる
8 節 不正や悪事を奨励するのではない
自分を窮地、危機から救うためには、知恵と力を結集して
準備し、真剣に遂行し、勝利を得よ
自分と人々の扱いを心得ている

Ⅲ. イエス・キリストの私たちへの勧告・命令

(1) 永遠のすまい（御国）に自分が入れるように与えられた賜物を用いよ

(2) " 他の人々も入れるように "

そうすれば、再会し、永遠に主の御もとでともにいるようになる

(3) 世の富を忠実に用いよ（不忠実＝怠惰、死蔵）
そうすれば、まことの富（天にある）を任せられる

(4) 神（与え主）と富（与えられた物）とに兼ね仕えることはできない
富は恵みであるが、神ではない
この世限り、変化 / 永遠、不変

Ⅳ. 私たちへの適用（コロナショック下）

(1) まず、自分が救われ、自立していることが前提
それから、身近な家族、親族、友人へ
例：台湾からのメッセージ 「他人のことを心配するより先にまず自分」
これは利己主義ではない、合理的、現実的な考え
組織や指導者は誤ることがある

(2) 正確な情報・知識を持っているかどうか分岐点
分析・判断の土台、金の動き、流れに注視すれば、歴史の真実が見える
妨げ：情報から遮断、情報操作、フェイクニュース、デマ、根拠のない言い伝え
例：米中大戦争、26℃の湯でコロナウイルスは死ぬ

(3) お金についての正しい知識・態度
社会生活に必需、潤滑油、経済の仕組み、忌む物・依存する物ではない
良く知って、健全な楽しみや良い人間関係のため活用
無欲と無頓着は違う
強欲・食欲は戒められている
例：一律10万円給付金は受け取って、各々が考えて使う
受け取らなかったら、国庫で溶けてしまう（和光市長）

手元に最低3ヶ月分の生活費を持つておく（口座凍結、自然災害）
*主への献金と自分の生活費

必要な急を要する出費は惜しみなく、大胆に（効果が大きい）

結び：ここ数ヶ月でさまざまなことを知らされ、経験

今の現状の把握

これから、私は、家庭は、教会はどう変わればよいのか

目標、夢、希望に向かって、どう考え、決断し、行動していくのか

ゴール：御国に入ること